

# カプセル博多人形復活へ



カプセル入り博多人形として売り出す「三面大黒天」(右)と、新たに制作中の「菅原道真」

## 「終了宣言」後も要望強く

今年1月に惜しまれつつ「終了宣言」となった博多人形商工業協同組合青年部(西山陽一会長)のカプセル入り博多人形がこの秋、復活する。11月2〜4日に福岡市博多区のマリンメッセ福岡で開かれる「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI EXPO in FUKUOKA)」で、手のひらサイズながら1個1万円というプレミアム感そのままに、初日午前11時の開場と同時に売り出される。

### 来月、福岡市工芸品全国大会で販売

カプセル博多人形は、若手人形師でつくる青年部が2017年1月の青年部展で初めて販売。当初は1個500円で「出せば即売」の人気となった。

だが業界内から「技術の安売りだ」などの批判が出

品7産地の青年部による合同企画の一環。会場2階に設けられた7産地のコーナーに自動販売機を設置。1万円と引き換えたコインを自販機に投入する。

人形は「三面大黒天」など1月に販売したのと同じ型のほか、「菅原道真」など新作も準備中。100個を目標にメンバー6人が各10〜20個を作る。カプセルは高級感ある金色で、きり箱なども付属する。

西山会長(39)は「復活の要望が強く、特別な大会を盛り上げるため決断した。メンバーは良い物を作ろうと張り切っており、1万円にふさわしいクオリティにしたい」と話している。同組合11092(291)4114。

(益田孝)

て、今年の青年部展では金箔を使うなど高品質化を図って1万円に値上げ。「これが最後」と宣言したところ、20倍もの値上げにもかかわらず完売した。

復活は、久留米絣や上野焼など県内の伝統的工芸